

# 猪苗代湖に於ける白鳥渡来に関する観察記録

1975 ~ 76

## 猪苗代湖の白鳥を守る会

### 1. 初 認

10月15日 AM6:40 白鳥浜にコハクチョウの成鳥2羽

### 2. 渡来より飛去までの異動状況

別紙記録のとおり

### 3. そ の 他

今季はアメリカコハクチョウ、およびバンデング（脚環・頸環）したものは見なかった。また50年4月10日、県鳥獣保護センターで虚弱鳥として保育していた幼鳥1、黒い頸環を付して放鳥したが戻っては来ず、全国渡来地の情報にもみられない。

### 4. 湖岸著雪の状態

降雪量は前年に比べ極めて少なかった。本格的な降雪をはじめたのは1月5日夜以降にして、湖岸の著雪はこれと同一なるも、濁水は前年よりも著しく湖岸より約500 mに及ぶ冠雪をきたした。これは1973~4年の豪雪時よりも甚だしかった。

### 5. 保護したもの および落鳥について

- 1) 11月12日 渡来途中過労に因ると思われる幼鳥1、河東村地内で収容。11月13日放鳥。
- 2) 12月6日仁蔵浜で起立不能に陥り、吉田清氏により収容されたものを加療。経過頗る良く7日夕放鳥する。
- 3) 2月1日 新田堀餌付場入口東側の雪崩れが融雪することにより屍体を発見する。
- 4) 2月8日 三城瀉餌付場付近で腐爛屍体収容
- 5) 2月14日 三城瀉餌料倉庫前の湿地（融雪地）に於いて屍体収容
- 6) 2月15日 同 上
- 7) 同 日 蟹沢浜に打上げられていた屍体収容
- 8) 2月18日 三城瀉餌付場付近で屍体収容
- 9) 3月6日 長浜で腐爛屍体収容
- 10) 4月5日 川崎浜で腐爛屍体収容

以上のとおり保護加療後放鳥したもの2羽、雪崩れによる事故死1羽、強風雪が続き餓死に陥りたるものと考えられるもの7羽。何れもコハクチョウの幼鳥であり、成鳥はみられなかった。

## 6. 渡来数について

別表のとおり前年度2月に於いて最高701羽を数えたが、本年は1月11日の460羽を最高に落鳥による減少のみに止まり、飛去直前迄450羽が滞留していた。これは直接渡来期で80羽少なく、その後の移動渡来がなく2月のピークはみられず、240羽減少している。

## 7. 本年度（1975～76）に於ける気象状態の特性

今シーズンの気象状態は、例年に比し当初より著しい変型を示してきた。即ちハクチョウ類の「渡り」が行なわれる10月中旬頃より日本々土に季節風として吹きこまれる移動性高気圧の中心の進路が、バイカル湖を通過してから南東進せず西方に偏倚し南下し黄河付近を経て朝鮮半島南部を横断、ついで北東上し沿海州南岸を東進する天気図がみられた。この現象は山陰地方に強力な寒波を伴った季節風が、東北地方よりも早く襲い降雪を齎らし、中心が北東上することによって猪苗代は高気圧等圧線の南側外周となることが多く、例年にみる細かい縦縞の等圧線の中に包含されることが少なかった。結果として季節風は極めて弱い状態でのみ通過していた。これを地上現象としてみるに例年11月下旬より可能となるスキーが1月6日より本格的に可能となるという暖冬異変をみるに至った。また、これと対称的に島根県中海、宮城県伊豆沼、青森県小川原湖等にコハクチョウの増加がみられ、また厳冬期移動の行なわれる12月に入るも南下は殆んどみられない儘にシーズンは了った。云い替えれば渡来地が凍結せず、餌資源に困窮しないために移動の要がなかったものと理解される。

## 8. 給餌について

餌の品種は例年と変わらず、屑米、糶、雑穀、残飯、干飯、生パン屑、干パン屑、茶ガラ、柑の皮、庄廬大麦等約30 tonに達し、日量1羽当り約400～500gの給餌を続けた。

## 9. 前年度の反省事項、懸案事項とその経過

### 1) 餌料の蒐集について

新聞、テレビ、広報等の協力により意外に多量の餌（餌代も含む）を寄せられ、容易に越冬することができた。これらの機関に対し深甚なる謝意を表す。

### 2) 餌付場の凍結防止対策

灌漑用水を導入し餌付場の凍結を防止せんと試みたが、水路が長く厳冬期には凍結し断水、減水した。前年とおりに砕氷、除雪作業を続けたが、通水量を2～3倍とすれば常時水面を露出することができるのではなかろうか。何れにしても水温のある地下水汲上方式が一番安定し且つ永続できる方策と思われる。

### 3) 野鳥保護を基本とした観察、観光施設

観察、撮影、観光客の漸次増加する動向にあり、施設の充実を急いでほしい。

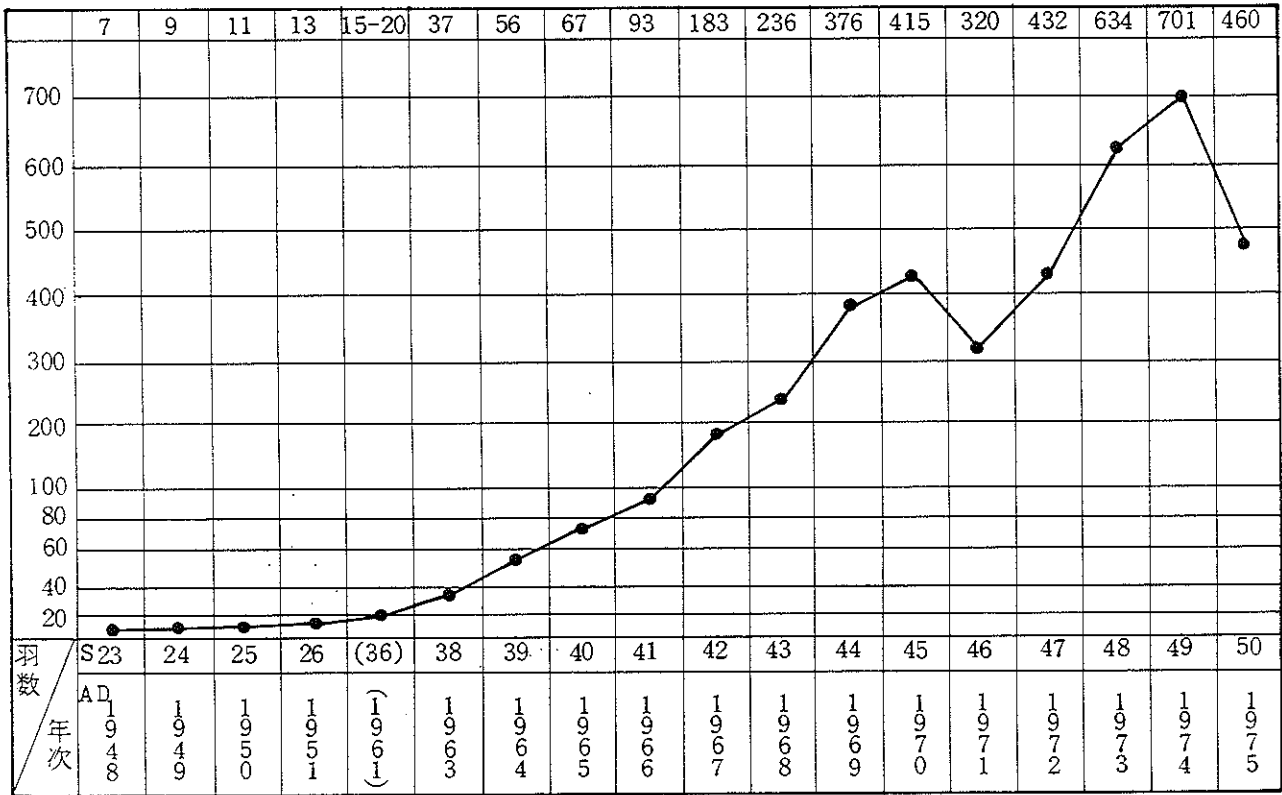
### 4) 落鳥防止対策

今シーズン8羽の落鳥が発生した事例に鑑み、三城瀉給餌場の充実を考慮したい。

白鳥の渡来記録 1975～76

月 日	現在数	渡来数	飛去数	コハクチョウ		オオハクチョウ		その他	摘 要
				成・亜成	幼	成・亜成	幼		
10.15	2	2		2					初認 於白鳥浜
21	6	4		6					
22	27	21		21					
23	93	66		69					
26	155	62		148		3	4		
11. 2	173	18			173				
4	173				173				臨時カウント
8	310	137			310				
9	337	27		247	78	7	5		定時定点カウント
12	363	26		264	85	7	5		
17	428	65			428				
27	428				428				臨時カウント
12.14	427			324	91	7	5		定時定点カウント
19	433	6		326	95	7	5		裏磐梯檜原湖より移動
1.11	460	27		332	116	7	5		移動日不詳 定時定点カウント
2. 8	456			329	115	7	5		定時定点カウント
25	452				452				臨時カウント
3. 5	450				450				臨時カウント
14	450			329	109	7	5		定時定点カウント
4. 1	450				450				臨時カウント
10	218		232						PM 6:00～9:00
11	188		30						AM 6:00
11	116		72						PM 6:00
12	79		37						AM 6:00～6:30
13	66		13						PM 9:00
15	4		62						AM 4:30～6:00
16	0		4						時刻不詳

猪苗代湖に於けるハクチョウ類渡来数の年次記録



渡来したハクチョウ類の月別羽数調査記録  
 1963~4  
 1964~5  
 1965~6

